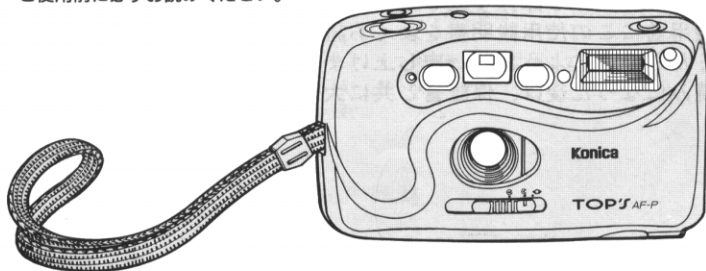
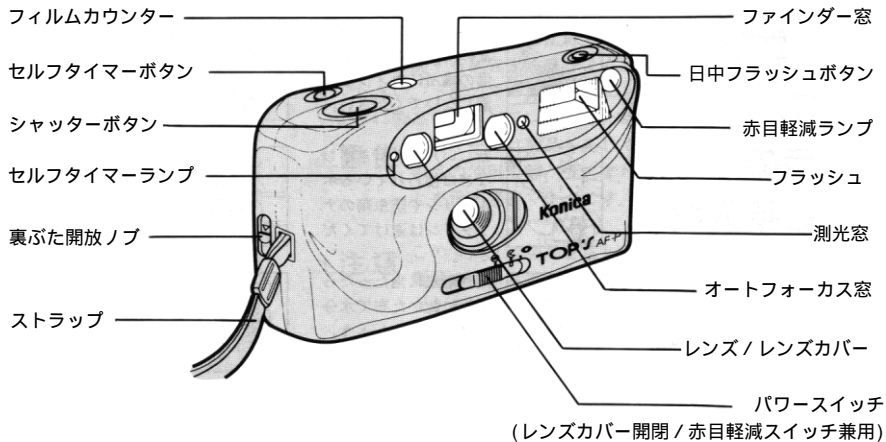
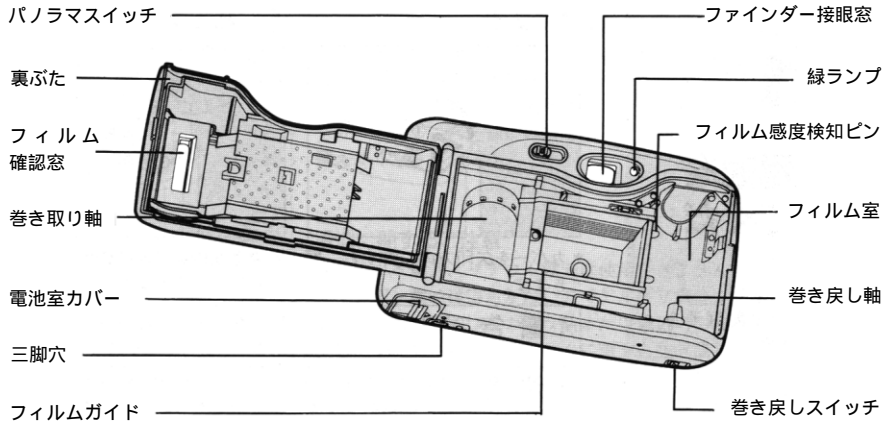
# Konica TOP'S AF-P

## 使用説明書

ご使用前に必ずお読みください。

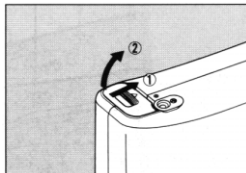
# 各部の名称

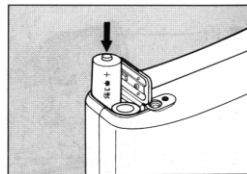
フィルムカウンター
セルフタイマーボタン
シャッターボタン
セルフタイマーランプ
裏ぶた開放ノブ
ストラップ
ファインダー窓
日中フラッシュボタン
赤目軽減ランプ
フラッシュ
測光窓
オートフォーカス窓
レンズ／レンズカバー
パワースイッチ
（レンズカバー開閉／赤目軽減スイッチ兼用）
Konica
TOP'S AF-P

パノラマスイッチ
裏ぶた
フィルム
確認窓
巻き取り軸
電池室カバー
三脚穴
フィルムガイド
ファインダー接眼窓
緑ランプ
フィルム感度検知ピン
フィルム室
巻き戻し軸
巻き戻しスイッチ

# 1

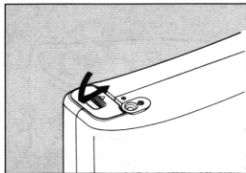
## まず電池を入れてください

単３形アルカリ乾電池を
２本使用します。

### 1 電池室カバーを開けます。

＊カバーを矢印方向に押すと、開きます。

### 2 新しい電池を２本入れます。

＊電池室内部の図に合わせ、⊕ ⊖を正しく入れます。

| | |
|---|---|
| ⚠警 告 | 爆発して大けがの危険があります。電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱をしないでください。 |
| ⚠注 意 | 発熱発火の危険があります。指定外の電池を使用したり種類の異なる電池を混ぜたり、新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。 |

## 3 電池室カバーを閉じます。

＊カバーを矢印方向に押しながら閉じてください。

## 電池交換の時期

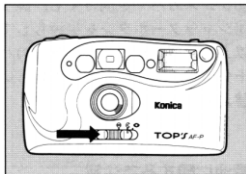
①フィルム巻き上げの速度が、通常より遅くなったとき
②レンズカバーを開けても、緑ランプが20秒以内に点灯しないとき
③シャッターボタンを半押しして、緑ランプが点滅したとき
以上の状態になったら、電池のパワーがカメラを作動させるのに不十分ですから、同一銘柄の新しいアルカリ乾電池を2本同時に入れ替えてください。

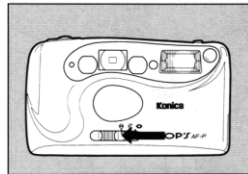
## 電池に関する注意

＊ニッカド電池、リチウム電池は使用できません。
＊マンガン電池は寿命が短いのでアルカリ電池をおすすめします。
＊使用済みの電池は、カメラ店または電気店にお持ちください。
＊電池が発熱した場合は、すぐに電池を抜き取り、近くの当社サービスステーションにお持ちください。
＊カメラを何ヵ月も使用しないときは電池を取り出してください。
＊付属の電池はご購入時のテスト用ですから、寿命が短い場合があります。

# 2

# レンズカバーを開けてください

## 1 レンズカバーを開けます。

＊パワースイッチを右にスラドして指標を◁に合わせると、スイッチONとなり、レンズカバーが開きます。
＊パワースイッチONにすると、充電完了を示す緑ランプが点灯し１分以上経つと消えて、電池の消耗を防ぎます。

## 2 撮影後はレンズカバーを閉じます。

＊パワースイッチを左にスライドして、指標を⊖に合わせるとスイッチOFFとなり、レンズカバーが閉じます。
＊レンズカバーを閉じるとシャッターがロックされ、レンズも保護されて安全です。

# 3

# フィルムを入れてください

## フィルムの選択

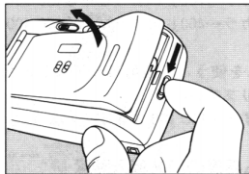
DXコードの付いた35㎜フィルムをご使用ください。

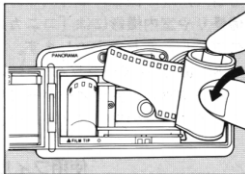
●晴天戸外の撮影には「コニカカラー100」のような感度ISO100
●曇りや室内撮影には「コニカカラー400」のような感度ISO400
　のフィルムをおすすめします。

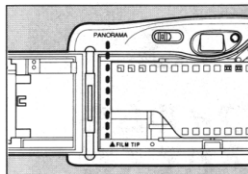
＊ISO400より高い感度のフィルムを使うと、直射日光下などの明るい被写体が露出オーバーになります。
＊DXコードのないフィルムは、すべてISO100に設定されます。

### 使用フィルム感度のDX導入感度

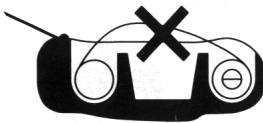
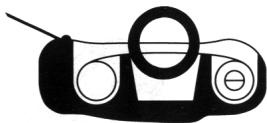
| 使用フィルム感度 | ＤＸ導入感度 |
|---|---|
| ISO 50<br>ISO 100<br>ISO 200 | ISO 100 |
| ISO 400<br>ISO 800<br>ISO 1600 | ISO 400 |

## 1 裏ぶたを開けます。

＊裏ぶた開放ノブを下方に押すと裏ぶたが開きます。

## 2 フィルムをフィルム室に入れます。

＊フィルム室下側の巻き戻し軸にパトローネの凹部を合わせてから入れると、平らに入ります。

## 3 フィルム先端をマークまで引き出します。

＊フィルムの引き出し方が少なかったり、引き出しすぎてタルミが出ないようにしてください。

フィルムの先端を“▲FILM　TIP”に合わせます。

フィルムの送り穴を歯車にかみ合わせてください。

**4 裏ぶたを閉じてシャッターボタンを押すと、フィルムが送られフィルムカウンターに“１”が出ます。**

＊パワースイッチがONになっていないと、フィルムが送られません。
＊フィルムカウンターに１が出ないときは、フィルムを入れ直してください。
＊フィルム確認窓を見れば、フィルムが入ってるかどうかわかります。

# 4

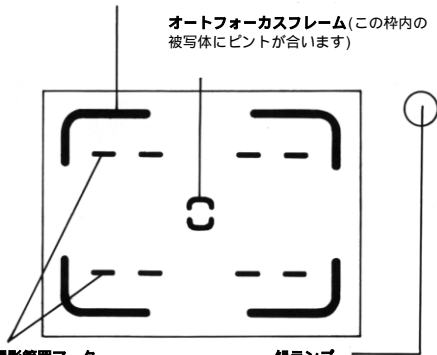
# カメラは正しく構えましょう

**両手でしっかりカメラを持ってカメラぶれを防いでください。**

カメラ背部を頬に当て、両ヒジを軽く閉めると安定します。ヒジを開けるとぶれやすくなります。
＊指や毛髪などがレンズやオートフォーカス窓、測光窓、フラッシュを邪魔しないように気をつけましょう。

タテ位置のフラッシュ撮影では、フラッシュを上に構えてください。フラッシュを下にして発光すると写真が不自然になります。
＊シャッターボタンは、指の腹で静かに押してください。

# 5

# ファインダーと緑ランプ

# 6

# いよいよ撮影です

**1 ピントを合わせたい被写体にオートフォーカスフレームを合わせます。**

＊撮影前にパワースイッチをスライドして、レンズカバーを開けておきます。
＊レンズが汚れていたら軟らかい乾いた布で、汚れを軽く拭きとってください。

＊日中撮影では1.2m～∞の範囲で撮影してください。

2 シャッターボタンを押して撮影します。

* シャッターボタン半押しで緑ランプが点灯し、ピント位置が固定されます。
* シャッターボタン半押しで緑ランプが点滅を繰り返すときは、電池が消耗していますから新しい電池と交換してください。
* 電池容量が十分でも、パワースイッチを入れた直後や撮影直後にシャッターボタンを半押しすると緑ランプが１回点滅します。

3 暗いときフラッシュが自動発光します。

* フラッシュ撮影は下表の範囲内の距離で写してください。
* 続けてフラッシュ撮影するときは、緑ランプの点灯を待ってから行ってください。
* 人物をフラッシュ撮影するときは、赤目現象を軽減するため赤目軽減撮影をおすすめします。

4 撮影が終わったら、パワースイッチをスライドしてレンズカバーを閉じます。

フラッシュ撮影の距離

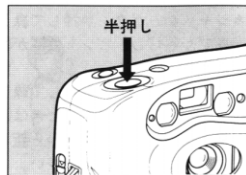
（ネガカラーフィルム使用の場合）

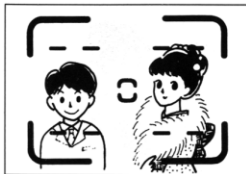
| フィルム感度 | 撮影距離 |
|---|---|
| ISO 100 | 1.2 m〜3.8 m |
| ISO 400 | 1.2 m〜7.6 m |

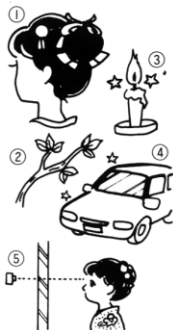
# 7

# フォーカスロック撮影

**ピントを合わせたい被写体が画面中央にないとき、フォーカスロック撮影をしてください。**

**1 オートフォーカスフレームに被写体を合わせ、シャッターボタンを半押しします。**

**＊ピント位置が固定され、同時に自動露出も固定されます。**

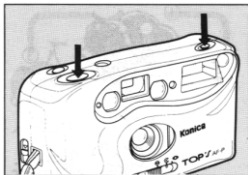
2 半押しのまま希望の構図に向け直し撮影します。

＊フォーカスロック後は、撮影距離を変えないでください。
＊半押しした指をシャッターボタンから離すと、フォーカスロックは解除され、やり直しができます。

## オートフォーカスが正しく動きにくい被写体

①反射しにくい黒いもの
②小さいもの、細いもの
③発光体
④光沢のあるもの
　これらは同じ明るさで等距離の測距しやすいものに向けてフォーカスロックしてください。
⑤ガラス越しのもの
　ガラスに近づけて写すか、フォーカスロックしてください。

# 8

# 日中フラッシュ撮影

**フラッシュが常時発光するモードです。**

**日中フラッシュボタンを押したまま、シャッターボタンを押して撮影してください。**

**＊逆光人物や室内窓際人物を明るく写します。**

**日中フラッシュ撮影(人物も背景もきれいに写ります。)**

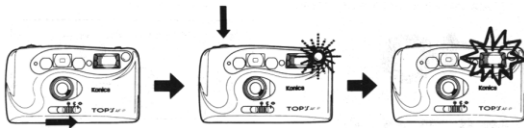
**フラッシュなしの撮影(人物が暗く写ります。)**

# 9

# 赤目軽減撮影

フラッシュ撮影で、予め人物を照明して瞳孔を小さくし、目が赤く写るのを防ぐモードです。

**1 パワースイッチを右端にスライドします。**

**2 フラッシュ発光前にライトが光ります。**

* 赤目軽減スイッチはパワースイッチと兼用です。指標を◉に合わせてください。

＊ シャッターボタンを押すと、赤目軽減ランプが約1秒問点灯した後フラッシュが発光します。

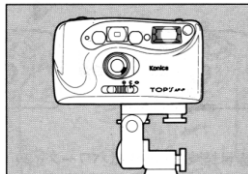
＊赤目軽減撮影はスナップ撮影には適しません。

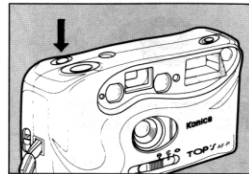
＊赤目軽減モードを使っても撮影条件や人によって、稀に赤目現象が起きる場合があります。

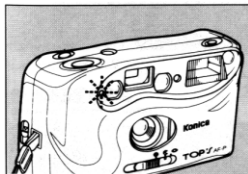
# 10

# セルフタイマー撮影

撮影者も画面に入る記念撮影などにご活用ください。

**1 三脚などでカメラを固定します。**

＊オートフォーカスフレームを被写体に合わせて固定します。

**2 セルフタイマーボタンを押します。**

＊セルフタイマーボタンを押すと同時に、セルフタイマーがスタートします。

3 約10秒後にシャッターがきれます。

＊セルフタイマーランプが７秒間点灯した後2秒間点滅し､撮影直前に1秒間点灯します。

＊カメラの前からセルフタイマーボタンを押すと、正しいピント・露出が得られません。
＊フォーカスロック撮影もできます。
＊セルフポートレートを行うときは、自分が写り込む位置と同じ距離で同じ明るさのものに向けて、フォーカスロックしてください。

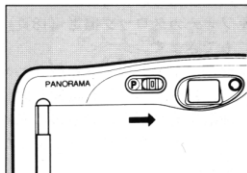
## セルフタイマー撮影を途中で解除するには…

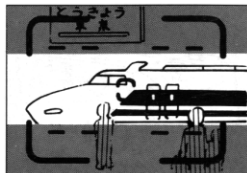
作動中にセルフタイマーボタンをもう一度押すと、セルフタイマー撮影が解除されます。またパワースイッチをOFFにしても解除できます。

# 11

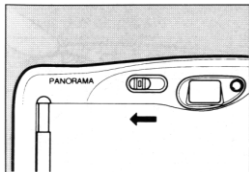
# パノラマ撮影

**標準撮影の途中でパノラマ撮影に切替えができます。**

**1 パノラマスイッチを右にスライドします。**

**＊Ⓟのマークが表われ、パノラマ撮影に切替わります。**

**2 ファインダーもパノラマ用になります。**

**＊パノラマ撮影範囲マーク内で構図を決め、撮影してください。**

**＊このカメラのパノラマ撮影は、カメラ側で標準撮影画面の１コマ分の上下を遮光して約13×36㎜の横長に写し込み、プリント段階でパノラマサイズ(89×254㎜)に仕上げるものです。**

## 3 撮影後パノラマスイッチを左に戻します。

＊Ⓟのマークが消え、標準画面に戻ります。
＊パノラマ撮影が終わったら、パノラマスイッチを確実に標準画面に戻してください。

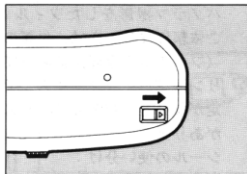
### 現像・プリントを依頼されるときのご注意

パノラマ撮影をしたフィルムの現像・プリントをDP店にご依頼になるときは、付属のパノラマシールをパトローネ(フィルムの容器)に貼って、必ず「コニカカラー百年プリント“パノラマサイズ”で」と指定してください。ご指定がないと、標準のサービスサイズでプリントされる場合があります。
シールの使い分け：
標準撮影の途中でパノラマ撮影した場合は、
「パノラマ／標準混在」シール
すべてパノラマ撮影した場合は、
「全数パノラマ」シール
を貼ってください。

# 12

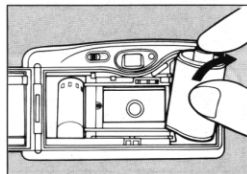
# フィルムの取り出し方

フィルムが終わるとフィルム送りが停止し、シャッターがきれなくなります。

## 1 巻き戻しスイッチをスライドします。

＊フィルムが自動的に巻き戻され巻き戻し終了で停止します。
＊フィルムカウンターは巻き戻しに連動して減算します。

### 途中巻き戻し

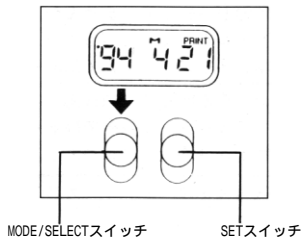
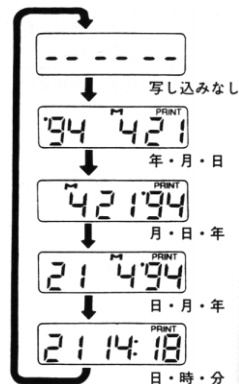
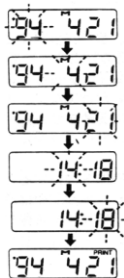
撮影途中でも巻き戻しスイッチ操作でフィルムを巻き戻せます。

## 2 裏ぶたを開けフィルムを取り出します。

＊巻き戻しスイッチは元の位置に戻ります。
＊巻き戻しの途中で裏ぶたを開けないでください。
＊フィルムを手で引き出さないでください。

# オートデート

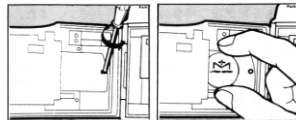
2019年12月31日までの日付・時刻を記憶し、画面に写し込むことができます。

## 表示モードの切替え

MODE/SELECTスイッチを押して、年月日、日時分、写し込みなしを選びます。

＊写し込みの位置が明るい場合や白、オレンジの場合は文字がはっきり出ないことがあります。

## 日付・時刻の修正

1)MODE/SELECTスイッチを２秒以上押して、年が点滅したら押し直し、修正する日付・時刻を点滅させます。
2)SETスイッチを押して日付・時刻を点滅のまま修正します。
3)修正が終わったらMODE/SELECTスイッチを分の点滅が終わるまで押し直すと、PRINTの文字が表われて写し込みの状態になります。

## オートデート用電池の交換

デート文字が見えにくくなったら、新しい電池と交換してください。使用電池はリチウム電池CR2025・3V・１コです。
＊電池交換後、日付・時刻が正しく表示されていないときは修正してください。

## 電池交換の方法

⚠警 告　・爆発して大けがの危険があります。電池を火の中に入れたり、ショート、分解、加熱をしないでください。
・誤って飲み込むと死亡の危険があります。電池は幼児の手の届かない所に保管してください。

## おもな仕様

| 項目 | 仕様 |
| --- | --- |
| 形　　式 | レンズシャッター式ＡＦ35㎜カメラ |
| 画面サイズ | 24×36㎜(13×36㎜パノラマ撮影時) |
| レ　ン　ズ | コニカレンズ32㎜Ｆ4.5(3群　3枚) |
| パワースイッチ | レンズカバー開で電源ON、約1分後電源OFFのオートパワーセーブ機構 |
| 焦点調節 | 赤外線ノンスキャンアクティブ式自動焦点、撮影範囲1.2m〜∞、フォーカスロック可能 |
| シャッター | 絞り兼用プログラム電子シャッター、1/50〜1/125秒 |
| 露出調節 | CdS受光素子使用のプログラムＡＥ |
| 露出連動範囲 | ISO 100　EV10〜EV13 |
| フィルム感度 | ISO 100／ISO 400 自動設定 |
| ファインダー | アルバダ式ブライトフレーム付ファインダー、パノラママーク、オートフォーカスフレーム、ファインダーわきに緑ランプ　点灯＝充電完了表示、点滅＝電池容量不足表示 |
| フラッシュ | 低輝度時自動発光式、ISO 100・1.2m〜3.8m、発光間隔・約5秒、フラッシュON 撮影、赤目軽減撮影可能 |

| 項目 | 仕様 |
| --- | --- |
| パノラマ撮影 | パノラマスイッチにより撮影途中の標準撮影・パノラマ撮影の切替え可能 |
| セルフタイマー | 電子式、作動時間約10秒、セルフタイマーボタンで始動、セルフタイマーランプが約7秒間点灯後約2秒間点滅、その後約1秒間点灯、途中解除可能 |
| フィルム給送 | 電動式、シャッターボタンでスタートするオートローディング、自動巻き上げ、巻き戻しスイッチによる自動巻き戻し、途中巻き戻し可能 |
| フィルムカウンター | 順算式 |
| オートデート | 液晶表示式デジタルウォッチ内臓、2019年までの写し込みなし、年月日、月日年、日月年、日時分を表示 |
| 電池寿命 | 50%フラッシュ発光のとき約15本(24枚撮りフィルム) |
| 電　　源 | 単3形アルカリ乾電池（LR6）2本<br>デート用・リチウム電池（CR2025・3V）1コ |
| 大　き　さ | 122.5×70.5×47.5㎜ |
| 質量（重さ） | 190g（電池別） |

＊上記性能については当社試験条件によります。
＊製品の仕様、外観については予告なく変更することがあります。